

# 平成25年度 村上市岩船郡家庭科部 活動報告

部長 石栗 知恵（猿沢小学校）

## 1 研究主題 「学習指導要領の趣旨に沿った家庭科授業のあり方」

## 2 研究の実際

- (1) 8月27日 家庭科部員会（村上市立金屋小学校）  
・教育課程伝達講習会
- (2) 11月15日 家庭科部員会（関川村立関川小学校）  
・ICT活用授業フォーラム  
関川村立関川小学校6学年家庭科公開授業への参加  
「まかせてね！栄養バランス満点の食事作り」  
（授業者 関川村立関川小学校 宮地 聡子 教諭）

公開授業では、以下の3点について学ぶことができた。

### ①家庭との連携の取り方

家庭科は家庭で課題に取り組むことも多い教科であり、各家庭の学習への興味・関心の差により、取組にも差が出がちである。授業者は、本単元に入ってから毎日のように学級だよりを出すことで、学習のねらいや進め方について丁寧に家庭に伝えていた。そうすることで家庭からの理解や協力も得られやすくなるだろうと推察できた。

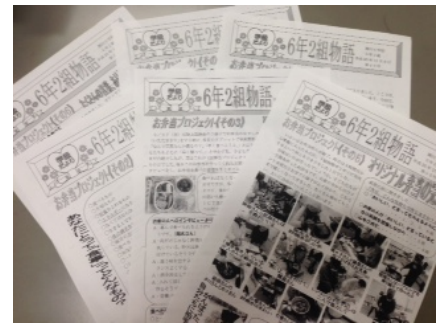
### ②ねらいに応じた題材構成の工夫

題材は「まかせてね！栄養バランス満点の食事作り」単体でなく、家族との関わりや「感謝」の気持ちを重視し、題材構成を工夫していた。

栄養バランスを考えるだけでなく、「感謝」というキーワードが随所にあふれる授業だった。食事の大切さというどうしても栄養バランスのことが頭に浮かぶが、作ってくださる人と食べる人がつながる行為であるということが、子どもたちにも良く伝わる授業であった。それは、自分たちが作ったものを自分たちで食べる調理実習では得られない感想である。食べる人のことを考えて作り、目の前で家の人に食べてもらうという実践があったからこそ得られた感想であった。

### ③言語活動の充実

本時は栄養バランスを考えた弁当作りの振り返り発表会ということで、献立の解説や苦労話、おうちの人の感想などをまとめ、発表していた。また、聞いている人たちはその班の良さを付箋に書き、伝えていた。言語化することで自分たちのこれまでの活動を整理することができ、他の家の方の感想に触れることもでき、「感謝」の気持ちに気づくことができた。



●学級便りて連携を図る



●ひと月分の給食内容を掲示

## 3 成果と課題

- 教育課程伝達講習会では、指導要領をもとに実践に即した話し合いをすることができ、日々の家庭科授業作りの工夫の視点を見い出すことができた。
- 公開授業へ参加し授業を参観したことで、改めて教材研究の大切さを感じた。家庭との連携方法、題材構成の工夫や言語活動の充実など、学んだことをそれぞれの実践に生かしていきたい。